

テーマ 北海道羅臼高等学校水産教室におけるESD

北海道羅臼高等学校長 三浦 治彦
担当者 嶽山 敏嗣

1 趣旨 本校のESDの特徴

- (1) 羅臼の海洋環境に関心を持ち、海洋生物について総合的に学ぶ。
- (2) 知床半島の魅力と独自性を自分の言葉で語り、発信できるようにする。

2 活動全体計画

- 5月～12月 水産教室
6月 クマ学習
12月 羅臼町幼小中高一貫教育によるユネスコスクール研究発表会
2月 ワシ学習

3 活動事例

(1) 羅臼町幼小中高一貫教育によるユネスコスクール研究発表会

羅臼町で学ぶ幼稚園児童、小学生、中学生、高校生がESDを推進するユネスコスクールとして学んできた学習成果を発表交流し、お互いの今後の学習への意欲を一層高める。



(2) 水産教室ダイビング実習

スクーバダイビングのライセンス根室海峡に生息する生物の資源としての有用性や持続可能な利用のあり方について理解する。



4 成果と課題

令和3年度（2021年度）における活動計画はウィズコロナによる工夫・改善をすることによって概ね計画通りに終了した。今後、さらに新型コロナウイルス感染症対策のなかで形式を工夫しながら行うことが大切である。